

# 香川の生物相を明らかにするための基礎的研究

香川の自然教育研究会

代表 泉谷 俊郎

香川県

はじめに

本研究会は1998年に香川県内の高等学校の生物教員を中心に発足した。

活動の主な目的は、次のような点である。

(1) 香川県の生物相を明らかにし、正確に把握する

- ・現在までに出版された発表報告や刊行物をもとに香川の生物相を示す文献目録を作る。
- ・現在の生物相を知るために現地調査を行う。

(2) 生きた生物を広く教育の場に取り入れる機会、方法を研究する。

- ・身近な生物を中心に教材として、または生物や自然環境への興味付けとして授業等に利用する方法の研究とその普及。

今回、引き続きタカラハーモニストファンドより助成をいただき以下のような活動を行った。

調査研究

各専門分野ごとに個別に活動し、特定地域の生物相の調査や特定の種についての調査研究。地域については、香川中央高校西側の河畔林や勤務地周辺、合宿調査をした場所周辺などでそれぞれ随時活動している。種などについては県内全域に目を向けて、グループや個人で活動している。

<例>香川県の淡水産貝類

(2) マメタニシ

みせばや3号で報告したヒメマルマメタニシと同じエゾマメタニシ科のマメタニシ *Parafossarulus man chouricus* の紹介。池や沼の中の倒木や泥の表面で生活しているため、干ばつやゆる抜き等で池の水位が下がったときでないと確認は難しい。

以前は肝臓ジストマの第1宿主として有名であったが最近では個体数の激減もあり、忘れ去られた感がある。香川県ではもしかすると絶滅している可能性もある。殻の特徴、生態、分布、採集記録などについてまとめた。

会誌「みせばや4号」より

◎会誌発行

会誌「みせばや」の発行を行っている。

この会誌は、会員、高等学校、図書館、大学や研究機関等に配布している。

\* (1) 内容については以下に示す。

◎学習会

定例会(年5回~6回)で会員それぞれの専門性を生かしたテーマでの学習会を行っている。各自が題材を持ち寄り、提供者からの説明の後、全員で観察や討論を行うといったスタイルである。会員相互で、それぞれの専門の見地から意見が出され活発な意見交換がなされている。

\* (2) 題材の参考例を以下に示す。

◎合宿調査

2002年6月8日~9日、恒例となった1泊2日の合宿調査を行った。調査場所は香川郡塩江町上西の竜王山のキャンプ場である。

内容は、初日には周辺の植物観察と昆虫の灯火採集をし、夜にそれぞれをさらに詳しい観察を行った。

2日目には植生調査、昆虫採集等を行った。成果については、随時会誌「みせばや」等で報告す

る。

前回までの合宿調査の報告例

<例1>三木町高仙山で採集した蛾

2000年6月10日～11日、木田郡三木町高仙山において行われた合宿研修会で灯火採集によって採集した蛾のリスト。イラガ科テングイラガ *Microleon longipalpis* ほか106種の記録報告。会誌「みせばや」4号で報告。

<例2>三木町高仙山の植物

同上の合宿で山頂周辺で見られた植物のリスト。アカガシ *Quercus acuta* など山地帯の植物を記録。

<例3>大川山合宿で採集した蛾

2001年6月9日～10日、仲多度郡琴南町大川山において行われた合宿研修会において灯火採集で採集した蛾のリスト。ハマキ科アトキハマキ *Archips audax* ほか75種の記録報告。会誌「みせばや」4号で報告。

\* (1) 内容

みせばや4号

- ・はじめに
- ・調査報告
  - (1) 香川町香川中央高校西側で採集した甲虫
  - (2) 三木町高仙山の植物
  - (3) 三木町高仙山で採集の蛾
  - (4) 香川県三木町高仙山の陸産・淡水産貝類について
  - (5) 香川県の淡水産貝類 (2) マメタニシ
  - (6) 琴南町大川山山頂付近で採集した甲虫
  - (7) 大川山合宿で採集した蛾

・例会報告

\* (2) 学習会 (例会) の題材の一例

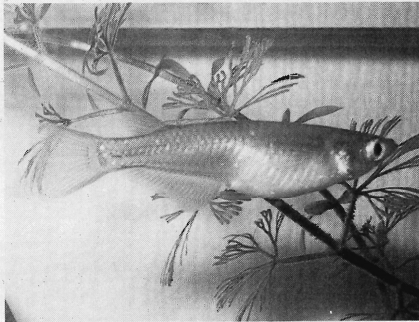
- ・レーウェンフックの顕微鏡 (厚紙とビーズで作)
- ・ナタマメ
- ・赤米、赤もち米

- ・懸滴法
- ・ミドリムシの細胞壁の観察
- ・大川山で採集した甲虫標本
- ・光合成の経路、教科書表記の変更点
- ・種子の飛び方 (シンジュ、カエデ類の形と回転の仕方)
- ・マミズクラゲ
- ・簡単な道管の観察と試料の作り方 (アサガオの花弁)
- ・シャジクモの節間細胞で原形質流動の観察
- ・ワムシの餌の食べ方 (繊毛の動きと水流)
- ・パンラマツ、トチの種子
- ・香川県では絶滅したと思われるタガメ
- ・コオイムシの雌雄の区別
- ・香東川の生物
  - ・マツカサガイ
  - ・ヒメタニシ、カワニナ
  - ・サカマキガイとモノアラガイの違いについて
  - ・ヤリタナゴ
  - ・ヨシノボリ
  - ・ナガミズムシ、ホッケミズムシ
- ・クヌギシギゾウムシ
- ・クマムシの観察、系統、名前の由来等
- ・ハナムグリの比較と温暖化によるオキナワコアオハナムグリの北上
- ・ナミテントウの遺伝的な多型
- ・ツメレンゲ
- ・トラフカミキリの擬態
- ・ドジョウ、シマドジョウスジシマドジョウの模様の比較
- ・キマワリの幼虫に寄生した冬虫夏草
- ・オニグルミ

などについて

# みせばや

(4号)



香川の自然教育研究会

みせばや第4号(2002)

## 等南町大川山山頂付近で採集した甲虫 三木 武司 (高松市木太町 2627-1 サーバスホ太事 3 601)

2001年6月9日~10日、香川県仲多度郡等南町大川山山頂付近(標高920~1000m)において、香川の自然教育研究会の宿泊研修会が実施された。その際、6月9日に、標高960mあたりで灯火採集等で採集した甲虫10日の午前中にルッキング等で採集した甲虫のうち、同定できたものについて、リストを掲載したい。種名の後に、採集個体数、採集日、採集状況を記した。採集者名を記していないものは、ほとんどが筆者の採集である。一部、研究会の会員が採集してくれたものもあり、採集者が特定できるものについては採集者氏名を付記した。なお、同定に当たり、オサムシ科については、藤本博文氏に、ジョウカイボン科の不明種については、倉敷市立自然史博物館学芸員の奥島健一氏に、リンゴコフゾウムシについては、瀬戸内むしの会の久米加寿徳氏に依頼した。3氏に感謝したい。

### オサムシ科 Carabidae

- アワオサムシ *Carabus tosanus kawanoi* (KAMIYOSHI et MIZOGUCHI) 1♀ 10日 車道を歩行中  
コヒラタゴミムシ *Platynus protensus* (MORAWITZ) 1ex. 9日 灯火  
アオゴヒラタゴミムシ *Platynus chalcocis* (BATES) 1ex. 9日 灯火  
ベーツヒラタゴミムシ *Euplymus batesi* HAROLD 1ex. 9日 灯火  
スジアオゴミムシ *Haplochaenus costiger* (CHAUDOIR) 1ex. 9日 灯火  
アトアオゴミムシ *Chaenius virgillifer* CHAUDOIR 1ex. 9日 車道を歩行中  
アトボシアオゴミムシ *Chaenius naeviger* MORAWITZ 5ex. 9日 灯火  
ミツアトアオゴミムシ *Paron trispunctata* (BATES) 1ex. 9日 灯火  
コタホシアトアオゴミムシ *Lobia bifoveolata* MORAWITZ 2ex. 9日 灯火
- ### シロムシ科 Silphidae
- クロシロムシ *Microphorus concolor* KRATZ 1ex. 9日 灯火  
マエモンシロムシ *Niviphorus maculiferus* KRATZ 1ex. 9日 灯火
- ### コガネムシ科 Scarabaeidae
- ヒラタハナムグリ *Nipponovalgus angusticollis* (WATERHOUSE) 1ex. 10日 泉谷俊郎採集
- ### アオハナムグリ *Eucetonia rosiflora* (HAROLD) 5ex. 10日
- ### コメツキムシ科 Elateridae
- ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* CANEZE 2♀ 9日 灯火  
サビキコリ *Agrypnus ulinidius* (MOTSCHULSKY) 1ex. 9日 灯火  
ニホンベニコメツキ *Denticollis nipponensis* OHIRA 1ex. 9日 灯火

-13-

## 目次

### 1. 調査報告

- (1) 香川県香川中央高校西園で採集した甲虫……………三木武司……………1
- (2) 三木町高仙山の植物……………泉谷俊郎……………3
- (3) 三木町高仙山で採集の蛾……………出嶋利明……………5
- (4) 香川県三木町高仙山の陸産・淡水産貝類について……………塩田裕之……………9
- (5) 香川県の淡水産貝類(2) マメタケシ……………塩田裕之……………11
- (6) 琴南町大川山山頂付近で採集した甲虫……………三木武司……………13
- (7) 大川山合宿で採集した蛾……………出嶋利明……………16

### 2. 例会報告

### 3. 会員名簿

### 表紙の説明

「みせばや」とは、ベンケイソウ科に属する多年生草本の名前である。小豆島寒霞渓付近の岩上のみみ生する香川県固有種であるとともに、古くから日本はもとより欧米でも園芸種として栽培される広く知られた植物ということから本誌の名称として使うことにした。

### 表紙写真の説明

1999年9月18日に坂出市玉越町の木沢塩田跡地に生息していたメダカで、飼育中の写真である。絶滅危惧種に指定されているメダカの生息場所は、香川県でも年々減ってきている。

### ジョウカイボン科 Cantharidae

- キンイロジョウカイ *Thamus episcopalis* (KIESENWETTER) 1ex. 10日  
アオジョウカイ *Thamus cyanipennis* MOTSCHULSKY 1ex. 10日  
セボシジョウカイ *Athemus vitellinus* (KIESENWETTER) 1ex. 9日 灯火  
ジョウカイボン *Athemus suturellus* (MOTSCHULSKY) 3ex. 9日 灯火  
ヒメジョウカイ *Athemus japonicus japonicus* (KIESENWETTER) 1ex. 9日 灯火  
マルムネジョウカイ *Prothemus ciusianus* (KIESENWETTER) 1ex. 9日 灯火  
ツルギタビボンジョウカイ *Hatchiana tsurugisana* (KIRIYAMA) 1ex. 9日 灯火  
タキモトクビボンジョウカイ *Hatchiana takimotoana* (KIRIYAMA) 2♂2♀ 9日 灯火

### ケンキスイ科 Nitidulidae

- キマダラケンキスイ *Soronis japonica* REITTER 1ex. 10日 バナナトラップ

### テントウムシ科 Coccinellidae

- ナミテントウ *Harmonia axyridis* PALLAS 5ex. 9日 灯火  
※クリサキテントウ *Harmonia yodoensis* (TAKIZAWA) が混在しているかもしれない。  
キヒロテントウ *Illeis koebele* TIMBERLAKE 1ex. 9日 灯火

### ハムシダマシ科 Lagriidae

- ヒゲトハムシダマシ *Luprops orientalis* (MOTSCHULSKY) 1ex. 9日 灯火  
ナガハムシダマシ *Macrolagriis rufobrunea* (MARSEUL) 1♂ 9日 灯火

### カミキリモドキ科 Oedemeridae

- カトウカミキリモドキ *Xanthochron katoi* KONO 1♂ 9日 灯火  
マダラカミキリモドキ *Oncosurella venosa* (LEWIS) 2ex. 9日 灯火

### カミキリムシ科 Cerambycidae

- セスジヒメハナカミキリ *Pidonis amentata* BATES 1ex. 9日 灯火, 1ex. 10日  
トビロカミキリ *Allotrues sphaericonis* BATES 1♀ 10日  
ミドリカミキリ *Chloridolum viride* (THOMSON) 1ex. 10日 藤本博文採集  
ユグトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT) 1ex. 10日  
シロトラカミキリ *Paraclytus excelsus* BATES 3ex. 10日 タンサワフタギの花

### ハムシ科 Chrysomellidae

- ルリハムシ *Lineidea senae* (LINNE) 2ex. 10日 ケヤマハンノキ  
ヤナギハムシ *Chrysomela vigintipunctata* (SCOPOLI) 1ex. 10日  
ツブノミハムシ *Aphthona pernixata* BALY 1ex. 10日

### オトシブミ科 Attelabidae

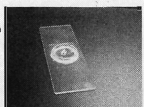
- カシノリオトシブミ *Eupsis splendida* VOSS 2ex. 9日 灯火

### ゾウムシ科 Curculionidae

- リンゴコフゾウムシ *Phyllotribus armatus* ROELOFS 2♂ 9日 灯火, 1♀ 10日 イタドリ  
ウスヒョウタンゾウムシ *Dermatosenus clathratus* (ROELOFS) 1ex. 10日

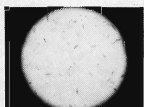
-14-

日時：2001年11月21日  
(第3回例会)  
場所：香川県立香川中央高等学校  
天気：晴れ  
人数：13名



懸濁法

水筒の中を泳ぐ微生物を観察できる。



ミドリムシ (×150)

米粒の中を泳ぐ微生物を観察できる。



ピースと厚紙で作る  
レーヴェンフックの顕微鏡



ナタマメ

さやは約20cm



赤もち米 粒

種皮自体が赤い



赤米と赤もち米

外観が異なる



赤米

の芯が赤い



赤もち米

の芯が赤い



太川山で採集した甲虫類



バナナラップに集った甲虫類

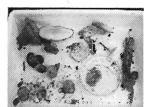


灯火に集まる甲虫類



朽れ木に集まる甲虫類

ヒメヒラタムシ、ケナシヒラタムシ、ムシなど。



香川中央高校西側の  
遊水林に生えるキノコ

ムラサキシメシ、ノウタケ、キツネ  
ノチャクロコなど。



シンジュとカエデ

どちらも、白根を張り回して根下する。  
種子は独特のカーブを持つ。

◇光合成について  
◇サットン

図表等で光合成の経路の表記が一部、変更されたことについて。  
染色体図の年号表記が教科書によって違うのはなぜか。  
変色体説 1902年 連鎖 1903年

日時：2002年6月8・9日  
(平成14年度 第1回例会)  
場所：塩江町上西 亀山山キャンプ場  
天気：曇れ  
人数：12名



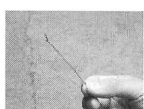
コシアブラ



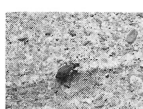
アサダ



オオオハボタル



ジャコガの幼虫  
(ジャクトリムシ)



ヒメオサムシ



ショウカイボンの仲間



ツノトンボ



カメノコテントウ



アウマイマイ



マソウウジ



メスクロヒヨウモン



コウゾ



アオテンナンショウ



オウレン

◇植物採集

駐在所周辺は商業広葉樹中心の林で、林床には、アカシヨウマ、オウレンなどがみられた。ヒメオサムシなど、昆虫類も豊富であった。

◇灯火採集 (3ヶ所)

場所によって、種類に差があった。林内のバンガロー周辺に多くの個体が集まった。ガが多く、甲虫は少なかった。ジャコガ類、メイガ類などが集まった。

同日でき次第、本誌で報告する予定である。

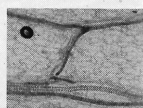
日時：2002年9月30日  
(第2回例会)  
場所：香川県立香川中央高等学校  
天気：曇  
人数：12名



アサガオ

(ヒルガオ科)

花弁では、らせん状の溝管が観察できる。



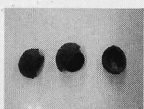
アサガオの花ひらの道管

(×160)



マミズクラゲ

淡黄色のクラゲ。



トチ

香川県では、ほとんどみられない。  
(他県産)



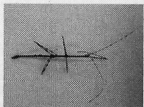
ハラナマツ

庵摩産アノリス科の種子。



ワムシ (×150)

種毛の裏面しているふよふよがわかる。



エダナナフシ

空想公園周辺の林。



ため池の水生昆虫



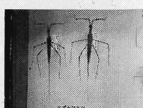
タガメ

香川県では、あられなくなった種も多い。



コイオムシ

香川県では、あられなくなった種も多い。



ミスカマキリ